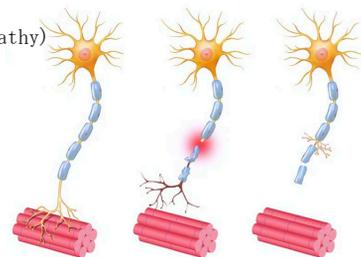


再生医療を用いた化学療法由来の末梢神経麻痺の治療の検討

横浜南共済病院 陳 昊

化学療法由来の末梢神経障害 (Chemotherapy Induced Peripheral Neuropathy)

- ✓ がん化学療法に伴う副作用の一つとして末梢神経障害を高頻度で起こる抗がん剤がある
- ✓ 末梢神経障害は手足の痺れや疼痛を主な症状としており、時に進展している場合もある



原因となる薬

従来の抗がん剤	分子標的薬	免疫治療薬
シスプラチン	カドサイラ	ニボルマブ
カルボプラチン	パドセブ	ペンブロリズマブ
オキサリプラチン	ロープレナ	ヤボリ
パクリタキセル	ボルテゾミブ	など
ドセタキセル	イキサゾミブ	
など	など	

治療現状

予防：有効な予防法はなく (ASCO, ESMOガイドラインも同様である)

治療：SSRIなど抗うつ薬、リリカなど鎮痛薬、牛車腎気丸など対症治療

再生医療(細胞外小胞)

糖尿病神経障害
脊髄損傷



化学療法由来の
末梢神経障害

有望な治療法

- ✓ 有効な報告があり
- ✗ 遅れた治療

- ✗ 新分野
- ✓ 予防治療

脂肪組織由来間葉系幹細胞のエクソソームを作成



研究デザイン

Step 1

Step 2

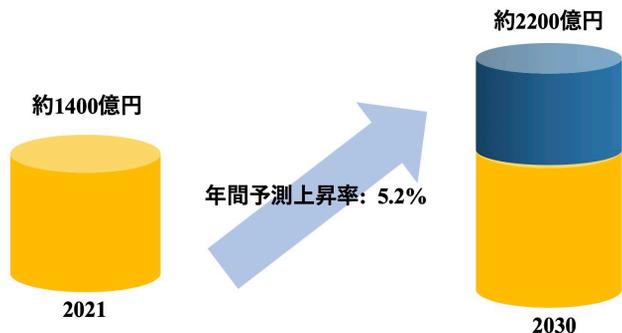
Pilot 試験(自由診療)

Phase II (臨床試験)

登録患者：
タキサン系薬を受ける患者
介入方法：
月1回 特定細胞外小胞を点滴
結果：末梢神経障害発生率

多施設研究
登録症例：60 症例
(30%の発生率、
50%の抑制効果)

グローバルマーケット



患者規模と費用

年間患者

2022年癌患者：101.8万人
化学療法患者：30.6万人
末梢神経障害：10万人 (約33%の試算)

費用

Step 1：登録患者30名 (約3000万円)
Step 2：登録患者60名 (約6000万円)
+ PMDA関連費用

お問い合わせ

横浜南共済病院 (化学療法室)

陳 昊
横浜市立大学 客員研究員
帝京大学 客員研究員
電話：045-782-2101
E-mail: chinsmd@gmail.com